



近畿圏の新たな高速道路料金導入後の交通状況について

～ 新たな料金による、高速道路の交通状況の変化を確認 ～

高速道路を「賢く使う」ため、近畿圏の高速道路料金について、新しい料金を本年6月3日より導入し、その交通状況の変化を確認しました。

< 新たな料金導入後の交通状況 >

① 新たな料金導入後の阪神高速の交通状況

- ・ 短距離利用は、約4～6%増加、長距離利用は約0～4%減少
- ・ 過度な交通集中が生じていた東大阪線において、交通量は約1%減少、渋滞損失時間は約2割減少
- ・ 東大阪線の短距離利用は約2%増加
→ 並行する一般道において、主要渋滞箇所を含む区間の交通量は約2%減少

② 「経路によらない同一料金」の導入は一定の効果

- ・ 第二京阪と大阪都心間の利用は約5%増加
- ・ 守口線の分担率が約2%増加
→ 東大阪線での事故発生時に分担率が上昇

③ 料金水準の見直しにより、第二京阪道路の利用が増加

- ・ 第二京阪道路の利用が平均6%程度増加
→ 新名神（城陽JCT・IC～八幡京田辺JCT・IC間）の開通に伴うネットワーク効果により、八幡東～京田辺松井の交通量が14%増加

問い合わせ先：国土交通省

代表 TEL 03-5253-8111

道路局 高速道路課

課長補佐

久保（内線 38304）

課長補佐

小島（内線 38352）

（課直通） TEL 03-5253-8500、FAX 03-5253-1619